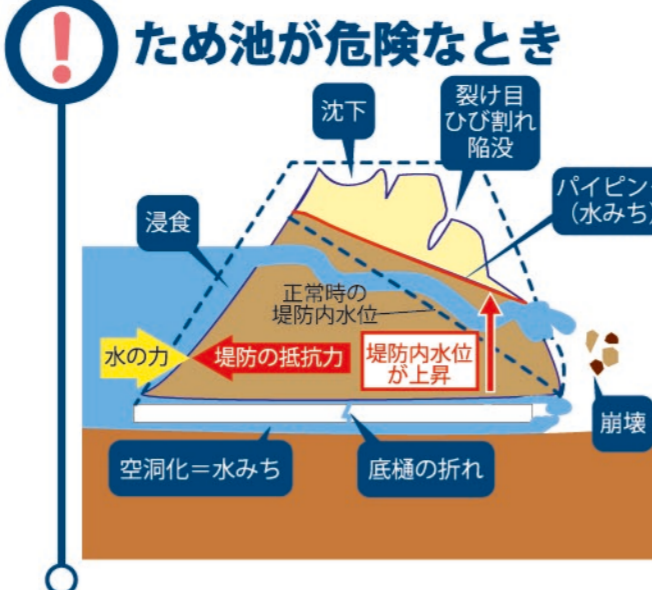


岩滝・小金ため池 ハザードマップ

ため池
ハザードマップ
とは？

「ため池ハザードマップ」は、ため池の堤体（堤防）が決壊した場合、住民の皆さんの避難に役立つように作成したものです。御宿町内の岩滝ため池及び小金ため池を対象に、千葉県のため池氾濫解析（平成28年度）をもとに町の現地踏査を踏まえて「最大浸水深」、「浸水到達時間」、「最大流速」及び避難に役立つ情報をまとめました。

発行：平成31年3月

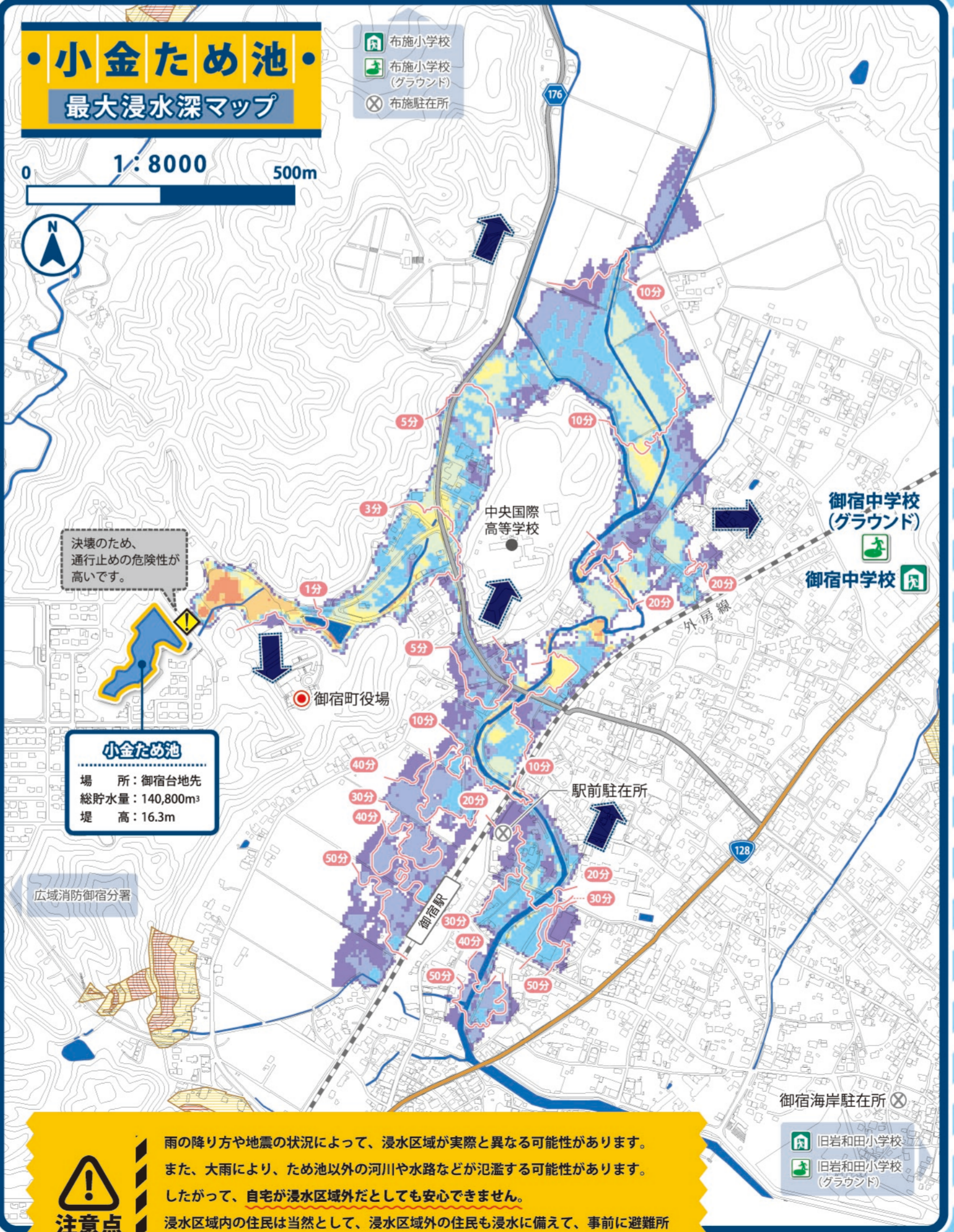
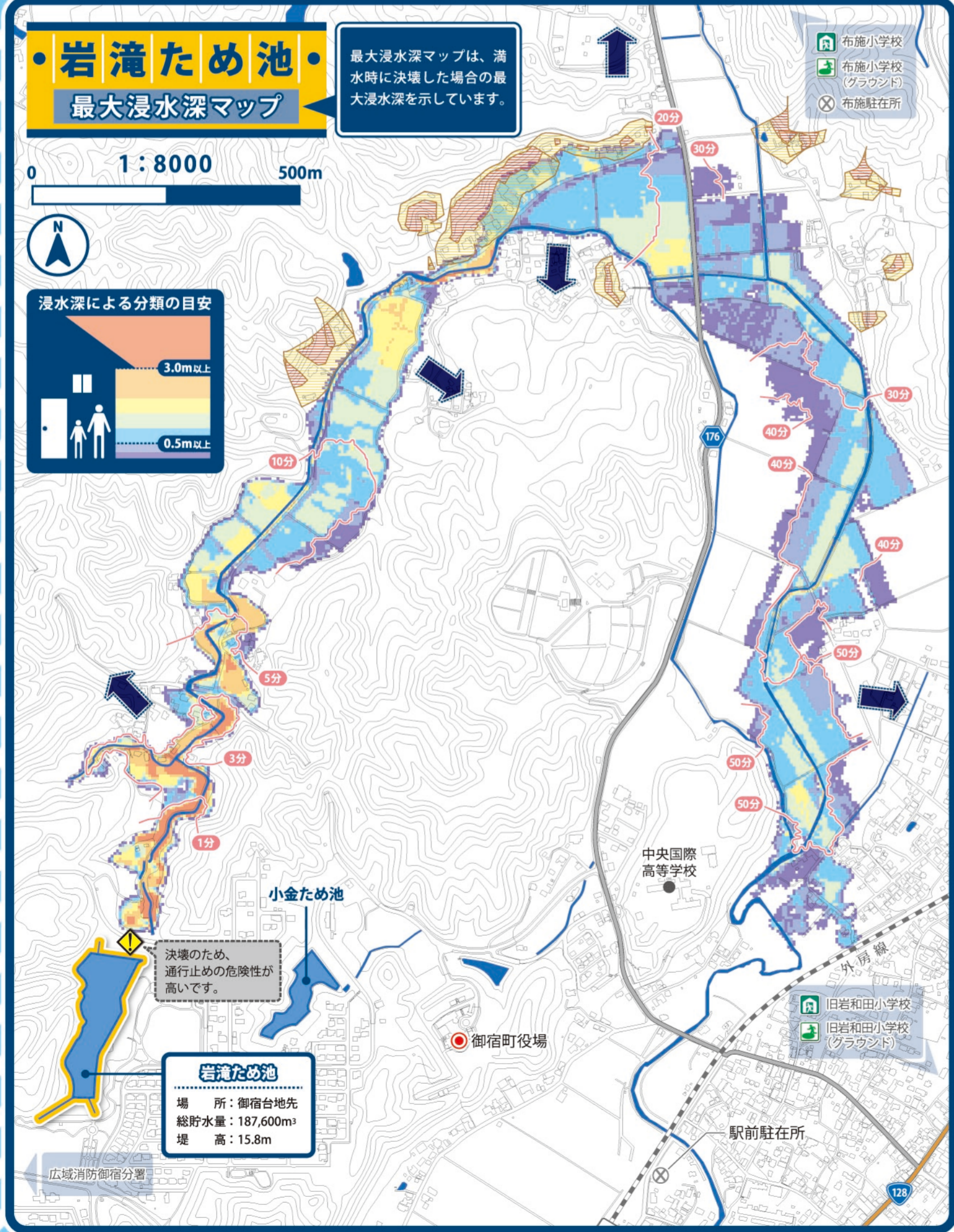
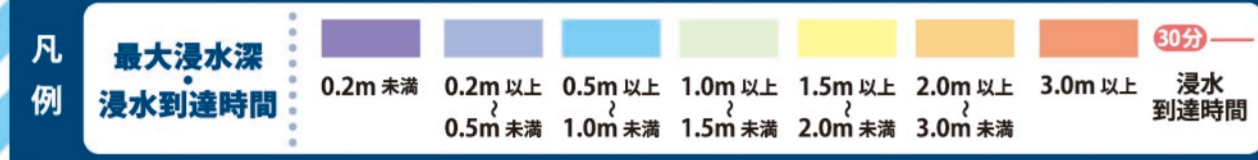
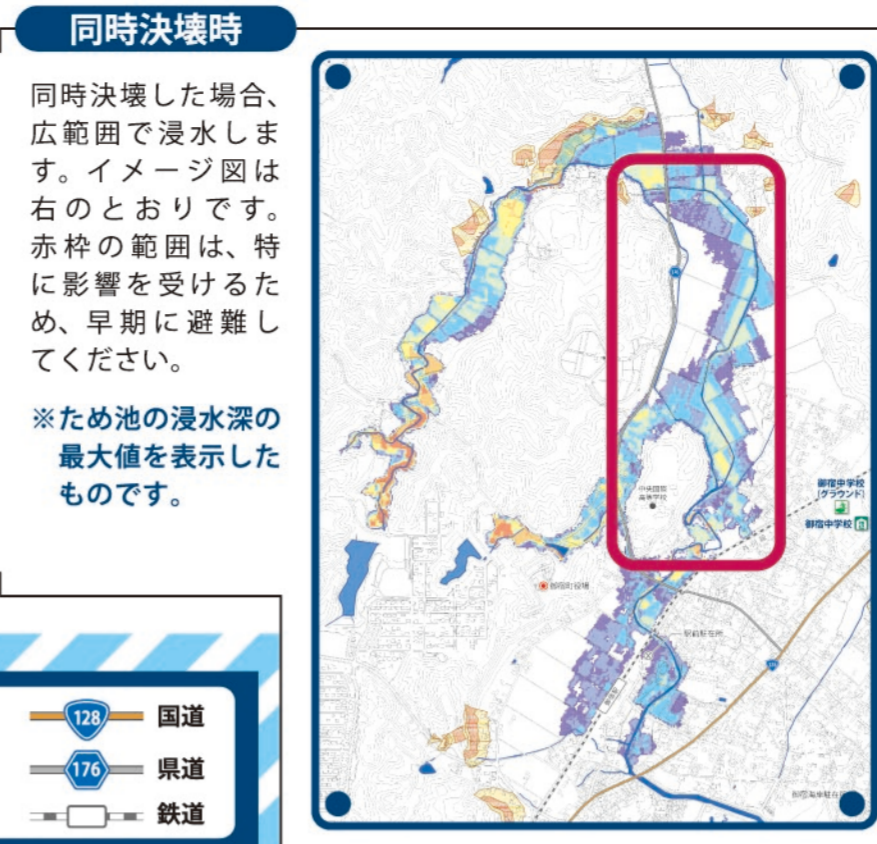


大雨時

- 堤体が傷むと、堤体内の途中や底に水みちができ、決壊する場合があります。
- 堤体全体に水が浸透し、堤体内の強度が弱まり、法面にすべり破壊が発生します。
- 豪雨により、堤防内水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、外側の法面が破壊され、決壊する場合があります。また、水の力が上昇し、堤体内を侵食し、決壊する場合があります。

地震時

地震により、堤体がクラック（裂け目、ひび割れ等）、沈下、斜面崩壊、斜面すべり等で破壊あるいは損傷され、決壊に至ります。



注意点

雨の降り方や地震の状況によって、浸水区域が実際と異なる可能性があります。また、大雨により、ため池以外の河川や水路などが氾濫する可能性があります。したがって、自宅が浸水区域外だとしても安心できません。浸水区域内の住民は当然として、浸水区域外の住民も浸水に備えて、事前に避難所等の位置や避難の方法を確認しましょう。

避難をするときに注意すること

ため池決壊以外の災害も意識する
地震や大雨のときは、ため池決壊以外にも、下図のような災害も発生しているおそれがあることに注意して避難してください。



- 危険な場所は避ける**
避難時は安全な広い道を選ぶようにし、できるだけ狭い道や塀ぎわ、川や水路の近くなどは避けてください。
- 屋内安全確保**
浸水が早く、逃げ遅れたときは、無理をせず、自宅の2階や近くの頑丈な高い建物に避難してください。
- 浸水し始めたら無理をしない**
ひざぐらいいくると歩行が困難になってきます。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理な移動は避けてください。

土砂災害について

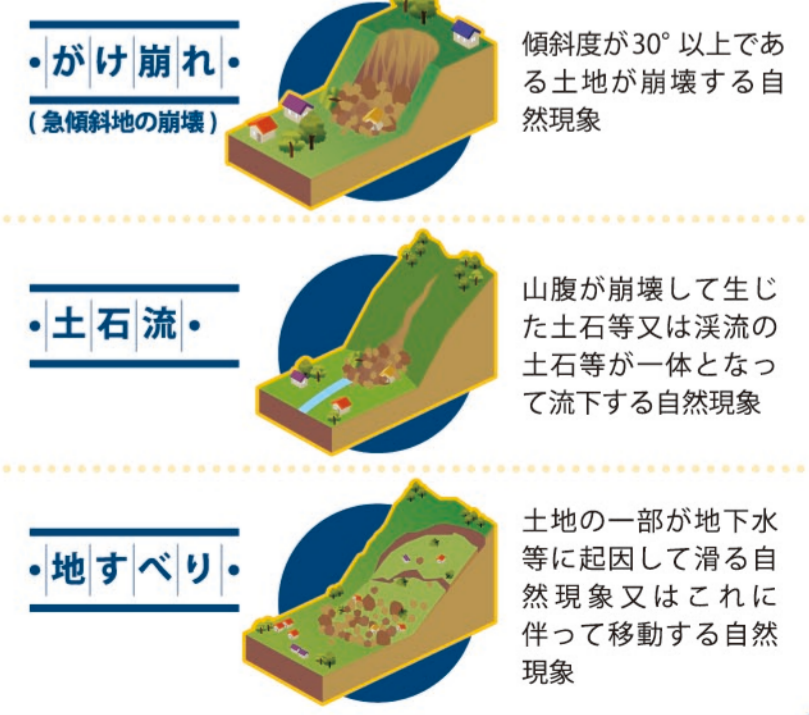
土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害の種類



※本ハザードマップに掲載された「土砂災害警戒区域」及び「土砂災害特別警戒区域」は、千葉県が指定した土砂災害警戒区域等を示しています（平成30年12月現在）。なお、指定された箇所以外に未指定な箇所が存在します。次に示した千葉県のホームページで確認することができます。◎「ちば情報マップ」 <https://map.pref.chiba.lg.jp/>